

地域密着型金融推進計画の進捗状況

長岡信用金庫では、平成 15 年 4 月から平成 17 年 3 月まで「リレーションシップ・バンキングの機能強化に関するアクションプログラム」、平成 17 年 4 月から平成 19 年 3 月まで「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム」と二次にわたるアクションプログラムに基づき、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域利用者の利便性向上等を柱に取組んでまいりました。アクションプログラムは終了しましたが、これまでの実績を踏まえたうえで、引き続き、以下の 3 点を重点項目として、「地域密着型金融推進計画」(平成 19 年度～平成 20 年度)を策定し取組んでおります。

平成 19 年度の進捗状況は以下のとおりとなっております。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業への支援

- ・平成 19 年度の実績は、2 件 5 百万円となりました

(2) 本部と営業店が連携した事業再生、経営改善支援企業のランクアップに向けた取組み

- ・平成 19 年度は経営改善支援先を 28 先抽出し、うち 2 先がランクアップしました。

(3) 中小企業再生支援協議会や R C C の活用

- ・現在、中小企業再生支援協議会に 1 社の案件を持ち込み、協議しております。
- ・事業再生のノウハウ収集のため、R C C との連携を検討中であります。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 担保・保証に過度の依存しない融資の推進

- ・平成 19 年度の実績は、10 件 195 百万円となりました。

(2) スコアリングモデル等を活用した融資商品の開発

- ・平成 19 年度の実績は、7 件 145 百万円となりました。

(3) 目利き能力向上に向けた職員の育成

- ・目利き力養成講座(2 名)、中小企業診断士養成講座(2 名)等外部研修に職員を派遣しました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 多重債務者問題への取組み

- ・平成 19 年度は、新たにスピードローンを発売し、175 件 153 百万円の実績となりました。

(2) 大口資金需要に対するシンジケートローンへの参加

- ・平成 19 年度の実績は、2 件 800 百万円となりました。

(3) 商工会議所との連携および活用

- ・長岡および小千谷商工会議所と連携し、商工会議所会員特別融資を取扱いしております。

経営改善支援の取組み実績

【平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月】

(単位：先数)

		期初債務者数 A	うち経営改善 支援取組み先	のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先	のうち期末 に債務者区分 が変化しなかつた先	のうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支援 取組み率 = / A	ランク アップ率 = /	再生計画 策定率 = /
要 注 意 先									
正常先		1,839	-		-	-	-%		-%
要 注 意 先	うちその他要注意先	310	22	2	20	22	7.10%	9.09%	100%
	うち要管理先	31	2	-	1	2	6.45%	-%	100%
破綻懸念先		51	4	-	4	4	7.84%	-%	100%
実質破綻先		42	-	-	-	-	-%	-%	-%
破綻先		15	-	-	-	-	-%	-%	-%
小計(～の計)		449	28	2	25	28	6.24%	7.14%	100%
合計		2,288	28	2	25	28	1.22%	7.14%	100%

(注)

- ・ 期初債務者数及び債務者区分は平成 19 年 4 月当初時点で整理。
- ・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。
- ・ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は に含めるもの に含めない。
- ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は に含める。
- ・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理すること。
- ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ・ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上すること。
- ・ 「再生計画を策定した先数」= 「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+ 「RCCの支援決定先」+ 「金融機関独自の再生計画策定先」

以上